



のびのび若っ子

人と人をつなぐ挨拶

校長 中島 早苗

中庭に咲く美しい紫陽花が、雨の続くこの季節に彩りを添えています。先日の中休みのことです。曇り空の下でも元気に遊びを楽しんでいた途中で雨がぽつりぽつりと降ってきました。外遊びが中止となり、昇降口には自然と教職員が立ち、校舎内に戻ってくる子ども達を迎えました。途中で遊びが中断され、気持ちが高ぶったままの子ども達が階段、廊下を安全に歩行できるように指導するための行動です。しかし、子ども達は、廊下や階段を走ることもなく、静かに移動していきます。

年度当初の朝会で、昨年度に引き続き、自分や他の人が気持ちよく過ごすために日常生活で当たり前と思われることに、しっかり取り組むことを話しました。具体的には「挨拶をすること」「廊下を静かに移動すること」「靴をそろえて入れること」などです。今回の中休みの姿には、その積み重ねが見られ、うれしく感じました。これらの当たり前と思われることを、継続することによって、習慣となってほしいとも思います。

この中でも、特に挨拶の大切さは折にふれて伝えるようにしています。挨拶は、人と人をつなぐ魔法の言葉であり、そこに相手がいることを認める優しさにあふれる言葉であると考えています。スピーチコンテストの本校代表となった6年生児童の「いつまでも住みやすい町になるために」の原稿の締めくくりの一文を記しておきます。

「ぼくは、これからまちの人とのつながりを大切にしていきたいです。今はまだ小さな力ですが、まちの人が笑顔で明るくなるようにすすんであいさつや、できることをしていきたいです。いつまでも楽しく祖母と散歩ができるように、そして周りにおこがれられる若葉台、協力して住みやすい若葉台を作っていきます。」

さて、例年ですと、6月には、登下校を見守っていただいている安全パトロールの方をお招きし、「感謝の会」を学校で開いております。昨年度は、休校明け間もないことから中止とさせていただきます。今年度は、会を開くことは見送りましたが、違う形で感謝の気持ちを伝えられないかを検討し「ありがとうウィーク」を設けました。すでに安全パトロールの方の日頃の見守りの様子を撮影させていただき、制作した動画を視聴して、現在は各学級で取組の具体を決めているところです。形は違っても、感謝の思いを届ける大切な取組は続けていきたいと考えます。今月も、よろしく願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』